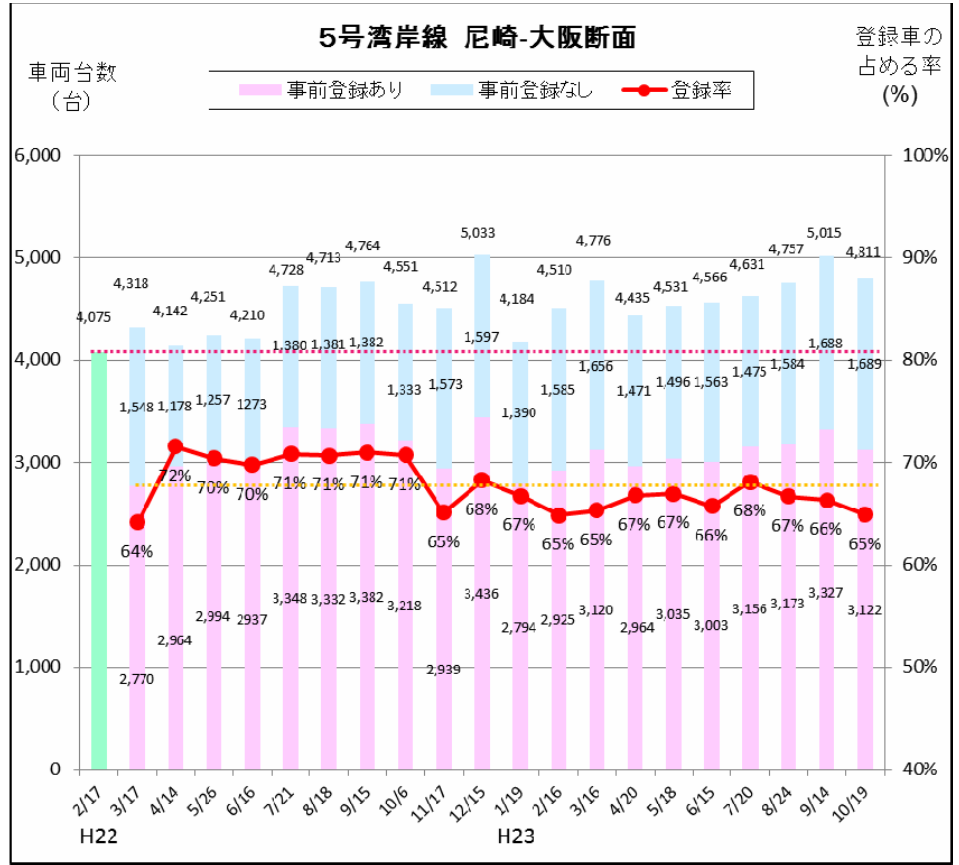
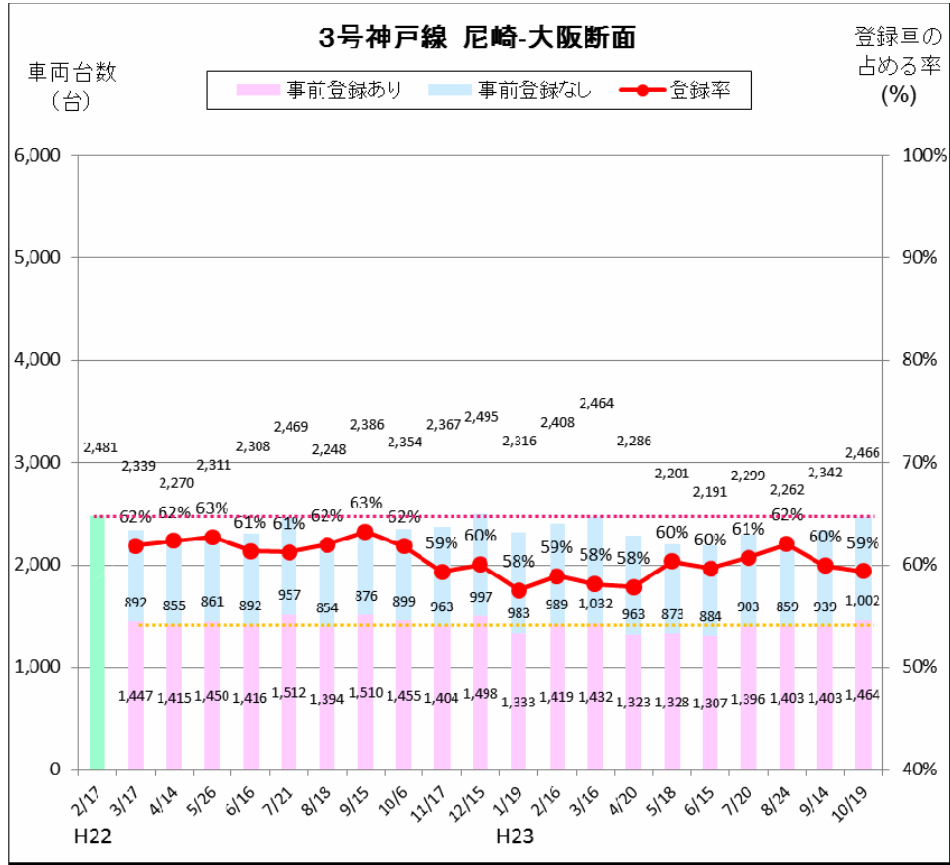


センサス大型車（料金普通・ETCコーポレートカード）の阪神高速利用状況



尼崎大阪断面においてETCコーポレートカードを利用して通行したセンサス大型車(料金普通)に着目すると、3号神戸線では、対象車両の通行台数はおおむね減少しており、登録率は50%後半から60%前半で推移している。5号湾岸線では、対象車両の通行台数は増加しており、登録率は拡充直後で64%、H22.4月以降65～70%程度で推移している。

現況の環境ロードプライシングの概要

国道43号・阪神高速3号神戸線沿道における大気環境改善のため、国・阪神高速道路株式会社は、平成13年11月より阪神高速5号湾岸線の環境ロードプライシングに取り組んでいる。なお、環境ロードプライシングの効果を確認するため、適切な時期に湾岸線への転換をはじめ交通実態の変化や沿道環境の改善を検証していく。

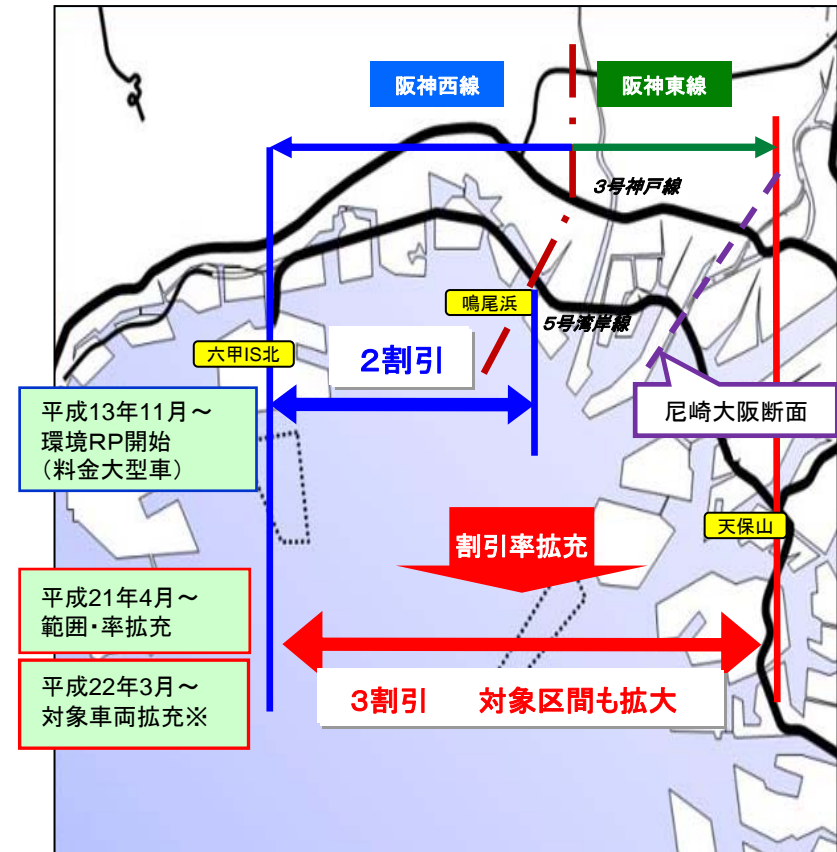
【概 要】

割引区間 六甲アイランド北～天保山(5号湾岸線)

割引対象車両 ● ETC利用の料金大型車
■ ETC利用の料金普通車の一部
(普通貨物車等)
※センサス大型車でETCコーポレートカード
事前登録車

割引率 30%

実施日 ●平成21年4月1日より、料金大型
車の割引率、割引対象区間拡充
■平成22年3月1日より、割引対象
車両の拡充



※平成22年3月からの対象車両の拡充は、センサス大型車(料金普通車)かつETCコーポレートカード利用で、事前登録を行った車を対象に3割引を実施。

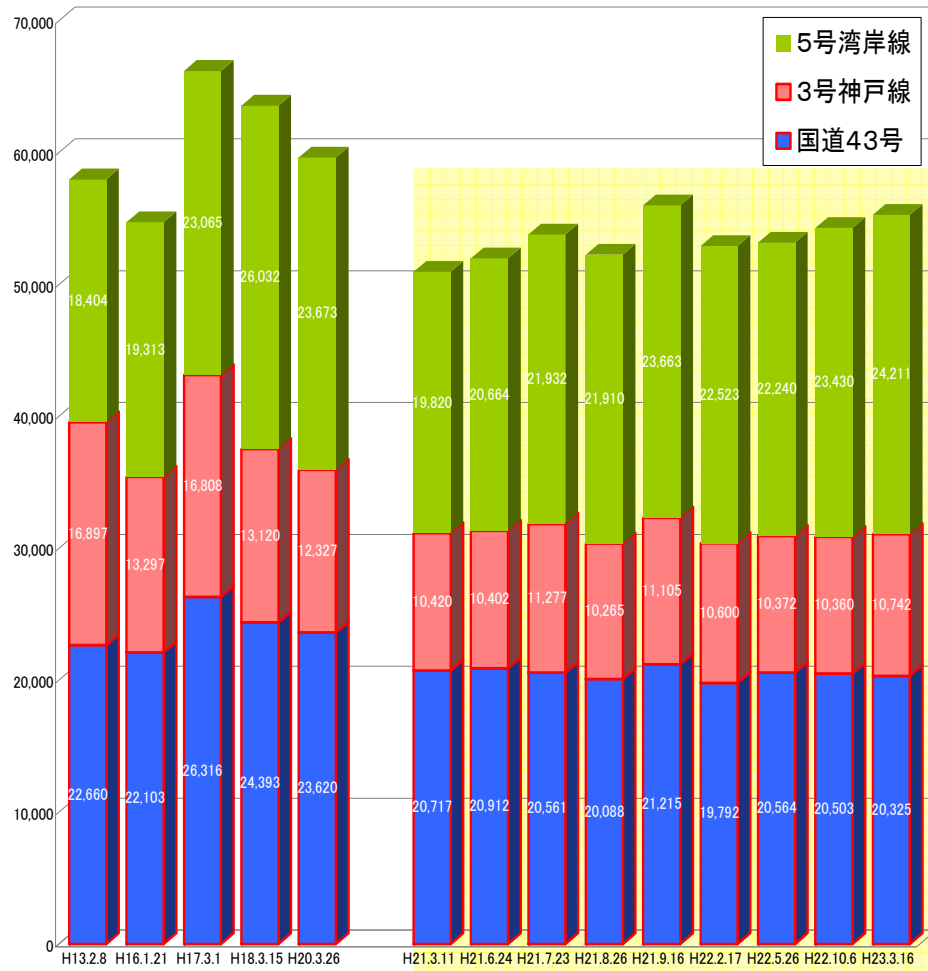
料金区分を超えた拡充

- ・阪神高速道路を運用管理する基本システム(料金徴収, 交通管理等)は2車種料金区分をベースとして構築。 → 同一の料金区分内の車のうち、特定の車種を選別することは非常に困難。
- ・上記課題に対し、コーポレートカードの特性(カードと車両は一对)に着目し、センサス大型車(料金普通車)のうちコーポレートカード利用について平成22年3月から割引を開始。

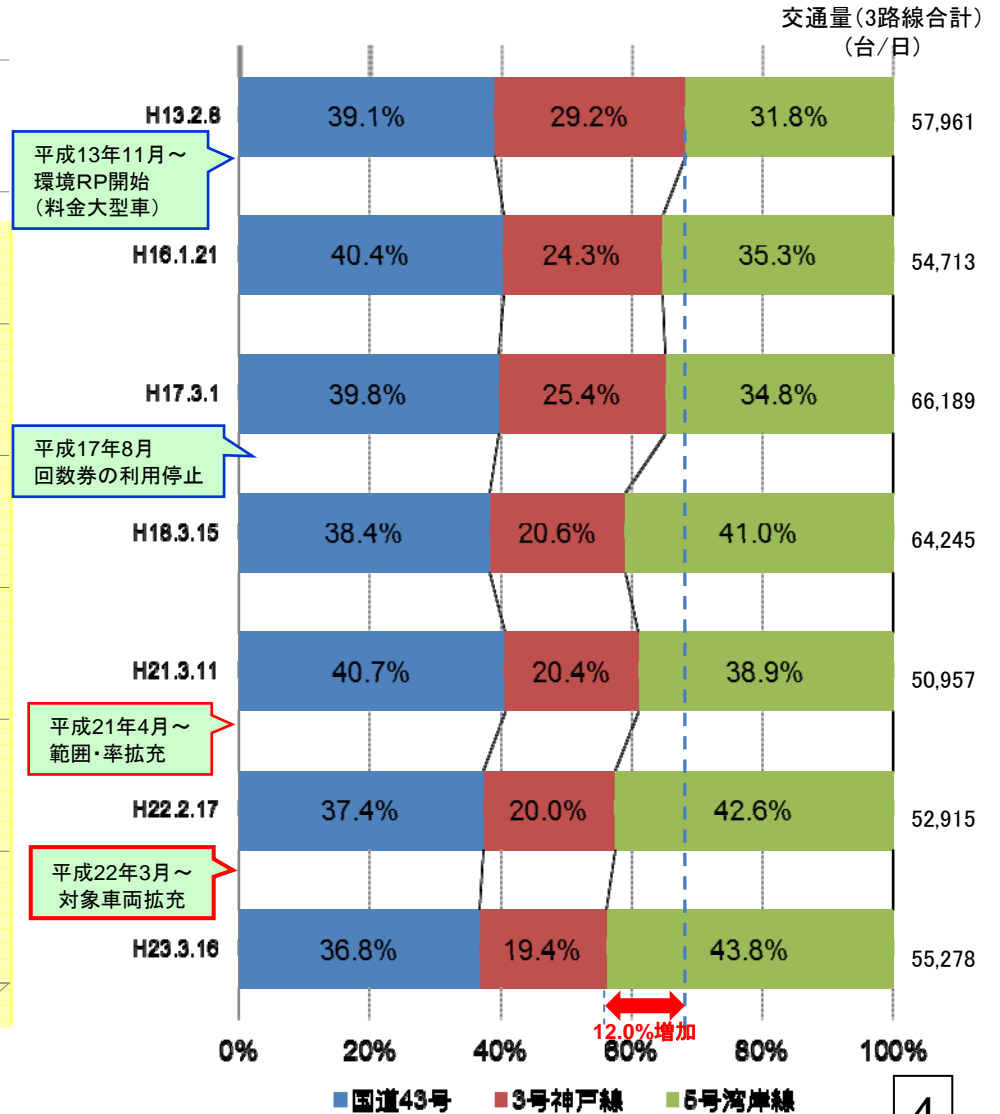
		センサス区分			
		小型車		大型車	
		乗用車 (ナンバー3、5、7)	小型貨物車 (ナンバー4、6)	バス (ナンバー2)	普通貨物車 (ナンバー1、8、9、0)
料金区分	普通車			<div data-bbox="1272 671 1771 762" data-label="Text"> <p>平成22年3月拡充対象</p> </div> <div data-bbox="1070 775 1451 975" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1037 986 1397 1058" data-label="Text"> <p>(乗員定員29人以下 かつ車両総重量8t未満)</p> </div> <div data-bbox="1621 775 1939 975" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1547 986 1944 1058" data-label="Text"> <p>(最大積載量5t未満 かつ車両総重量8t未満)※</p> </div>	
	大型車	<div data-bbox="385 1082 996 1497" data-label="Text"> <p>(備考) 注1)写真は主な車種を示す。 注2)ナンバーとは、ナンバープレート 上段右側の数字(2~3桁)の頭の1桁 例)  頭1桁 注3)※普通貨物車の括弧書きは、 代表的な区分を示す。</p> </div>	<div data-bbox="1350 1082 1688 1166" data-label="Text"> <p>従来の割引対象</p> </div> <div data-bbox="1093 1161 1442 1401" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1037 1417 1397 1489" data-label="Text"> <p>(乗員定員30人以上 又は車両総重量8t以上)</p> </div> <div data-bbox="1621 1161 2024 1409" data-label="Image">  </div> <div data-bbox="1536 1417 1865 1489" data-label="Text"> <p>又は車両総重量8t以上) ※</p> </div>		

尼崎大阪断面の道路別大型車分担率の変化

断面交通量(台/日)



分担率(%)



※阪神高速のH20年以降の交通量は、ETCデータを使用

ETCコーポレートカードとETCクレジットカードの違い

ETCコーポレートカード

- NEXCO3社(東、中、西日本高速道路株式会社)が申請者に貸与するETCカード。
 - 利用額に応じた割引(大口・多頻度割引)がある、事業者向けのカード(事業協同組合加入により、個人事業主でも利用可能。年会費は 無料～月額数百円程度《入会時に1万円程度の出資金が別途必要》が多い)。
 - カードは登録車両1台につき1枚貸与され、カード面上に車両番号が表示された登録車両に限り利用できる。
(ETCコーポレートカード利用約款第6条)
 - カードを登録車両以外の車両で利用した等の場合、重いペナルティが科せられる。
(同第23条～25条)
- 不正利用が困難なカード

ETCクレジットカード

- クレジットカード会社が発行するETCカード。
- 取得したカードはどの車両にでも使用可能。

ETCコーポレートカードとETCクレジットカードの比較

	コーポレートカード 	クレジットカード 	備 考
利用申込時の記入項目	車両情報(車両番号、車載器管理番号)も記入必要	車両情報(車両番号、車載器管理番号)は記入必要なし	
申込時の審査	申込資格・車載器保有の確認、支払い保証の確認	クレジットカード会社独自の審査	
利用時の特性	原則、登録した車載器とカードを一对として使用	車載器とカードの組合せは特に問われない	
カード発行件数 (カード鍵発行)	6,557,815 件 (7%)	84,818,886 件 (93%)	合計 91,376,701件 (100%) 2011年6月末現在 ETC便覧平成23年版
阪神高速での利用状況(料金普通車のうちのセンサス区分大型車) 出典:ETCデータ 2011.8.24			
3号神戸線全線	5,300 台/日 (38%)	8,700 台/日 (62%)	合計 14,000 台/日 (100%)
	9,000 台/日 (43%)	12,000 台/日 (57%)	合計 21,000 台/日 (100%)
車種拡大内容に対する比較			
対象車両の選定	事前の車両情報から、「料金普通車の中のセンサス大型車」という割引対象とする特定情報を比較的容易に確認することができる	事前の車両情報がなく、対象となる特定情報の確認が煩雑	
実効性の向上	事前の登録情報から連絡先等が判っており、効果的な働き掛けを行うことができる	全国に広く分布する利用車両に対し、効果的な働き掛けを行うことは困難	
施策実施の効率性	多頻度でかつ対象となる大型車の占める割合が高いコーポレートカード利用者へ直接働き掛けを行い、効率性を向上させることが可能	料金普通車の中で対象となる大型車の占める割合は低く、効率性が劣る	